ROTARY INTERNATIONAL 2720

第2720地区 Rotary TAMANA RC

玉名ロータリークラブ週報

2022～2023

イマジン ロータリー

R　I　会　長	■	ジェニファー・ジョーンズ
地区ガバナー	■	堀川貴史
会長	■	渡邉太朗
幹事	■	小山倫生
公共イメージ委員長	■	井上幸

例会日 ■ 毎週木曜日／12：30～13：30
例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺50-4　司ロイヤルホテル内
事務局 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺540-1-102

令和5年2月9日　No.2552

玉名RCメールアドレス　jimu@tamanar.club
ホームページアドレス　http://tamanar.club

【会長の時間】渡邉 太朗会長

皆さんこんにちは。
まずは　振興局～　無田様、本日はお忙しいところ、ご来訪頂きありがとうございます。後ほどの卓話宜しくお願いいたします。
本日は、来週に控えています職場訪問で訪問する「熊本城」の事をちょっと予習しときたいと思い調べてみました。私も、ボヤ～っとしか知らなかった事が、色々と分かり楽しみながら調べる事ができました。

まずは歴史から。　熊本市の中心に位置する茶臼山（ちゃうすやま）に熊本城が完成したのは、慶長12年（1607年）。ご存じのように築いたのは城づくりの名手とうたわれている加藤清正です。

日本三代名城のひとつとして数えられ、特にその石垣の美しさは他の追随を許さない。その歴史は古く、九州豪族、菊池氏の一族、出口秀信が文明年間に城を築いたのがはじまりで、当時は千葉城といい、その後、鹿子木氏によって現在の熊本城の南隅に築いた城が隈本城という。

天正15年（1587）、秀吉の九州討伐によって佐々成政が隈本城に入封するが、治政を誤り失脚、尼崎で切腹すると、翌年、加藤清正が入る。このときから城の改築を始めるが、慶長の朝鮮出兵などの戦で、城を留守にすることが多く、なかなか工事は捗らなかった。関ヶ原の戦いで清正は、東軍 家康側につき石高を上げることになるが、この頃から朝鮮出兵の経験をもとに、茶臼山と呼ばれた丘を中心に、千葉城、隈本城の両城を吸収するかたちで98haにも及ぶ大規模な築城工事を開始した。約7年の歳月をかけ、慶長12年（1607）に、隈本城を熊本城と改め、今も見られる構造となった。清正の没後、子の忠広が後を

継ぐが、寛永9年（1632）、謀反（むほん）の疑いをかけられ改易（かいえき）。その後、細川忠利が入封（にゅうほう）、以来、細川氏が世襲し明治を迎えた。

明治10年、西南戦争で熊本城は西郷軍の攻撃を受け、52日間にも及ぶ篭城戦を耐え抜きその真価を発揮したのは皆さんもご存じと思います。このとき、惜しくも天守や本丸御殿が焼失してしまったが、現存する宇土櫓ほか多数の櫓や城門などは畏怖堂々（いふどうどう）と残っています。

熊本城といえば、上に行くほど勾配がきつくなる「武者返し」の高石垣が有名ですが、これは清正流石垣と呼ばれ、近江の穴太衆という、伝説の石積み技を継ぐ石工集団によるものだとも言われています。

昭和30年代から40年代ごろ、「お城復興ブーム」と呼ばれる時期があり、熊本城の天守も焼失から83年の時を経て、瓦１枚寸分狂わず忠実な外観復元されたようです。平成になり、城全体を史実に基づく姿に戻そうという「熊本城復元整備事業」が始まります。「一口城主」などの後押しもあり、熊本地震で被災後の現在も復元工事が進んでいます。これほど大規模な復元を進めている例はほかにはないようです。これもひとえに、天下の名城とされる由縁のひとつでないでしょうか。

近すぎてなかなか行く機会の少ない熊本城に、せっかく訪問するのですから、楽しみにして行きたいと思います。

それでは、会長の時間を終わります。

【幹事報告】

■熊本城訪問 乗り合わせについての案内

■玉名中央RC40周年祝賀会への出席の案内

■いだてんマラソンボランティア参加の案内

■地区大会の案内

【職業奉仕委員会より】

■熊本城視察についての案内

2月9日（木）

【出席・ スマイル報告】

会員数	**53（48）名**
出席数	**23名**
出席率	**47.9％**

★中嶋委員長　2/9例会

スマイル

前回までの累計	￥ **613,000**
今　　回	￥　29,000
合計	**￥ 642,000**

渡邉会長	地域振興局 局長 無田様のご来訪心から歓迎致します。 本日の卓話よろしくお願いします。
田原会員　中嶋(一)会員 松本会員　鶴田会員 大石会員	玉名振興局 無田局長のご来訪心から歓迎致します。本日の卓話よろしくお願いします。少子高齢化はロータリー会員の事業所でも大きな課題であり大変興味があります。
坂梨会員	無田局長様のご来訪心から歓迎致します。 お忙しい年度末にも関わらず快く引き受けていただきまして有り難うございました。宜しくお願い致します。
田中会員　松﨑会員 中嶋会員　深見会員 村上会員　馬氷会員 吉岡会員　本田会員 堀本会員　野嶋会員 吉田会員　杉谷会員	玉名地域振興局 無田局長様のご来訪心から歓迎致します。

【本日のプログラム】　外部卓話

テーマ：『少子高齢化・人口減少社会への挑戦』

卓話者：熊本県県北広域本部玉名地域振興局
　　局長　無田 英昭　様

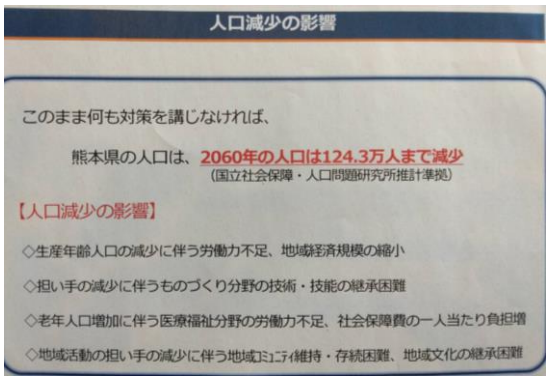
玉名地域振興局の無田局長にご来訪いただき、日本の少子高齢化・人口減少について卓話いただきました。玉名地域振興局は総務振興課、保健福祉環境部、農林部、土木部に分かれておりそれぞれがまた担当の課ごとに分けられています。

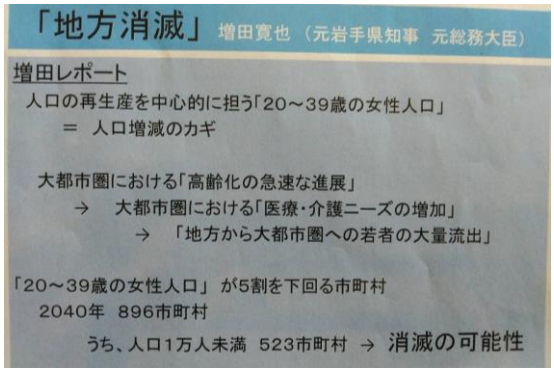
【総務振興課】　局内の総合調整、防災、選挙、消防、地域振興、観光・物産振興、商工業振興、入札、工事契約、会計・出納、税務窓口等
【保健福祉環境部】総務福祉課、衛生環境課、保健予防課
【農林部】　農業普及・振興課、農地整備課、林務課、(県北広域本部水産課)
【土木部】　維持管理調整課、用地課、工務課

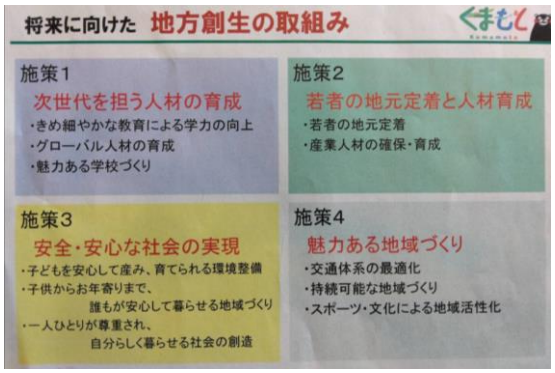
振興局とは・・・？

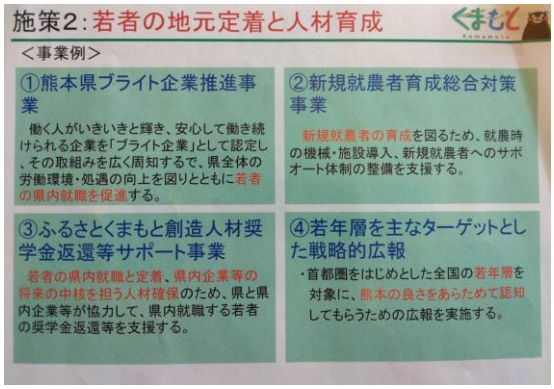
地方自治法155条により都道府県に設置される支庁の名称のひとつであり、管轄区域における都道府県の事務の一部を分掌する。具体的な名称は都道府県により、「振興局」「総合振興局」「広域振興局」「地域振興局」「地方振興局」等さまざまである。いわゆる県の「出張所」のような扱いであり、「出先機関」と呼ばれるものです。こうすることで、事務の負担が軽減できるだけなく、地域内をより隅々まで見渡せるようになり、行政を進めやすくなるといった利点もあります。ちなみに、地域内に点在する振興局は、各都道府県庁がそれぞれに条例で定めたうえで設置しているため、区分けも市町村単位とは限りません。また、振興局を不要とし、一切置いていない地域もあります。基本的には当該地域全域に置かれることが多いという事です。

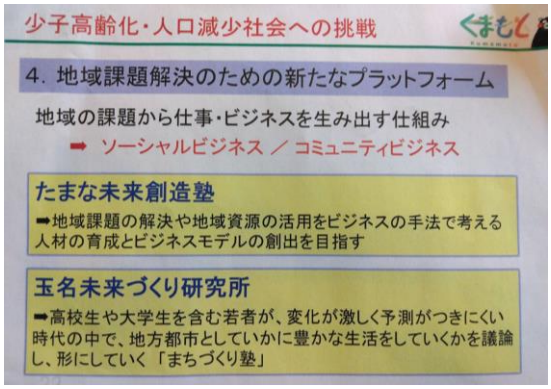
以下、無田様のご用意いただいた資料より抜粋してご紹介いたします。











少子高齢化・人口減少と課題は大きいですが、できる取り組みも
まだまだありますね！無田様 貴重なお話をありがとうございました。